



問 農業政策課
☎内線1812



一日限りのうしくカフェで 贅沢なひととき

2月17日、シャトーカミヤ内ラ・テラス・ドウ・オエノンで、稲敷地域アグリビジネスフェア「うしくカフェ」が開催されました。

稲敷地域の農産物のPRを目的として、稲敷地域農業改良普及事業推進協議会・県・市の共催で行われたこのイベント。当日は、ビュッフェ形式で稲敷地域の食材を使った料理がふるまわれたほか、料理研究家・岡野沙織さんによるトークショー、地元野菜や加工品のPR・販売などがエレガントな雰囲気の中で行われました。

特に色とりどりのビュッフェは圧巻。「牛ほほ肉とレガームの煮込み」や「うしく

河童米のリゾット」など、石塚紀幸料理長が今回のために特別にプロデュースした料理が出されるたびに大歓声が上がりました。

「牛久でこんなにいるんな野菜が作られているとは知らなかった」普段なかなか手に入らない食材を口にできて嬉しい」と、参加者は一日限りのうしくカフェを満喫していました。最後に、牛久の美味しいものを集めたお土産も配られ、皆さんとびきりの笑顔で帰路につきました。

市では、今後も引き続き、地元農産物を直接目で見て触れる機会を沢山作り、地産地消を推進していきます。



市内の男女共同参画に取り組む企業を紹介します

うしくひと・ひと図鑑

No.3



株式会社エンポール 飯野久美子さん

【企業データ】

(株)エンポール

(牛久浄苑牛久大仏)

従業員数/62人(うち7割が女性)

※(株)エンポールは牛久市男女共同参画ネットワークに参加いただいています。

平成8年の入社以来、3人の子の出生と育児、けがや病気も経験しながらフルタイムで働き続けてきた飯野久美子さん。土日祝日の勤務もある中、

「家庭や地域以外にも世界を持っていたほうがよい」と、応援してくれた夫の励みも力になったといいます。また飯野さんは、「上司・同僚は気遣いあふれる方で、仕事のこと、家族のこと、何でも話せる仲です。そのような温かい職場での上司・同僚とのコミュニケーションは、「人の気持ちに寄り添った接客」という形で仕事に生かされています。

人の痛みがわかる、機微がわかる、その上でお客さまと会話ができるように心掛けています」と話します。

後藤財務渉外部長は、「社員には全ての仕事ができるようになることを期待しています。そうすることで、誰が休んでも仕事が回るようになります。今後は育児をする職員だけでなく、介護をしながら働く社員も出てくるでしょうから、日頃からワークシェアリングできるような体制を整えることは大切なことです」と未来を見据えて語ってくださいました。